



## 2017年3月期 第1四半期決算概要

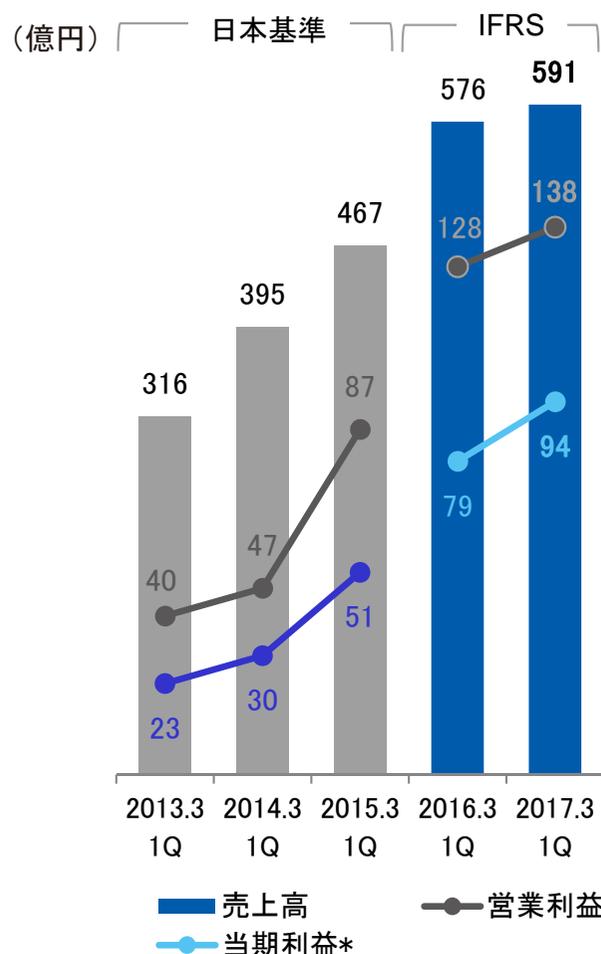
---

当社グループは、当年度より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。なお、前年度の数値についても、IFRSに準拠して開示しております。

シスメックス株式会社

2016年8月5日

# 第1四半期 決算総括



\* 日本基準では親会社株主に帰属する当期純利益  
IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益を記載

	2017年3月期 1Q	前年同期
1USD	108.1円	121.4円
1EUR	122.0円	134.2円
1CNY	16.5円	19.6円

Copyright by Sysmex Corporation

	2017年3月期 1Q		前年同期		(億円) 前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	591.6	100%	576.4	100%	102.6%
売上原価	247.4	41.8%	236.5	41.0%	104.6%
販売費及び一般管理費	172.3	29.1%	178.5	31.0%	96.5%
研究開発費	38.3	6.5%	32.5	5.6%	117.7%
その他の営業損益	5.3	0.9%	0.0	0.0%	-
営業利益	138.8	23.5%	128.8	22.4%	107.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	94.5	16.0%	79.8	13.9%	118.4%

- **売上高** 現地通貨では全所在地で増収も、円高により米州、EMEA、中国が減収となり、円ベースでは全体で微増
- **営業利益** 原価率が悪化するも、増収効果および販管費の抑制もあり増益
- **為替差損益** △15.9億円（前年同期：為替差損益は2百万円）

※ 為替の影響 売上高 △70.3億円 営業利益△14.2億円

※ 前年同期為替レート適用の場合 売上高 114.8% 営業利益 118.8%

- **設備投資（有形）** 22.2億円 **減価償却費** 32.7億円

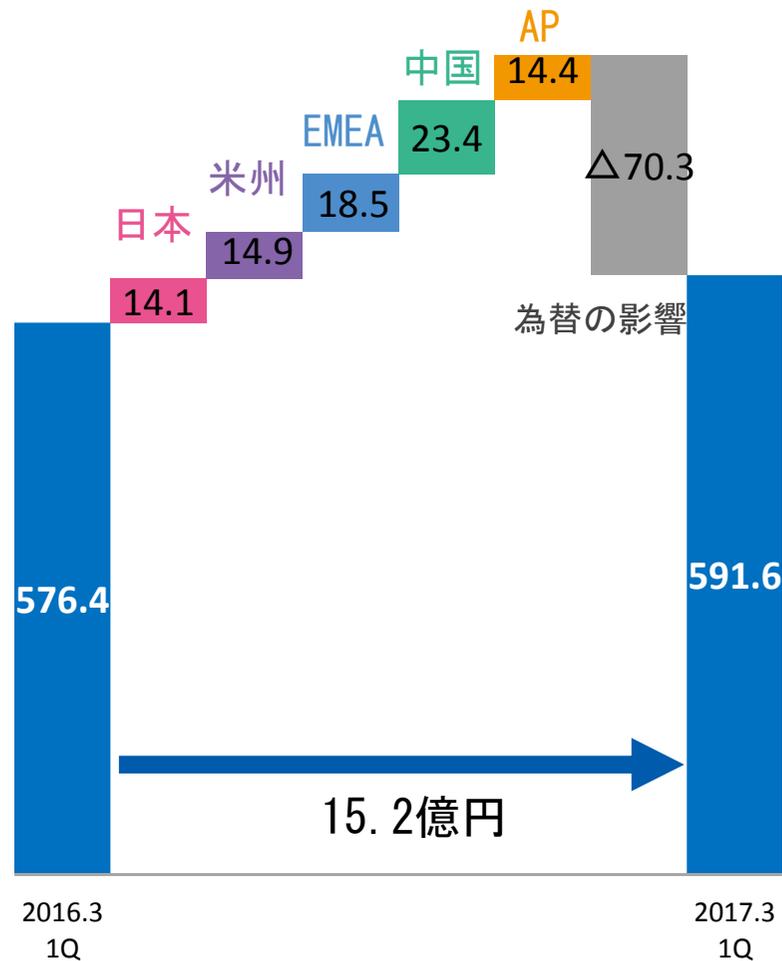
# 売上高・営業利益の増減要因



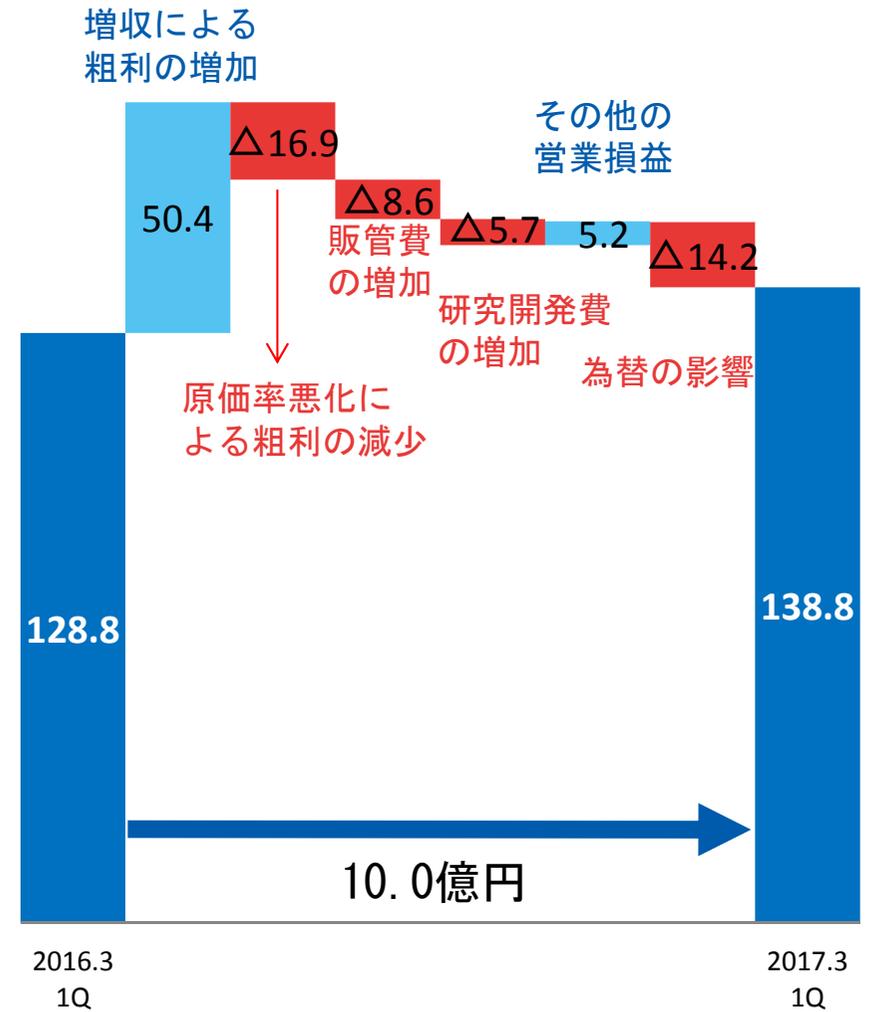
(億円)

## 売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



## 営業利益



# 所在地別売上高

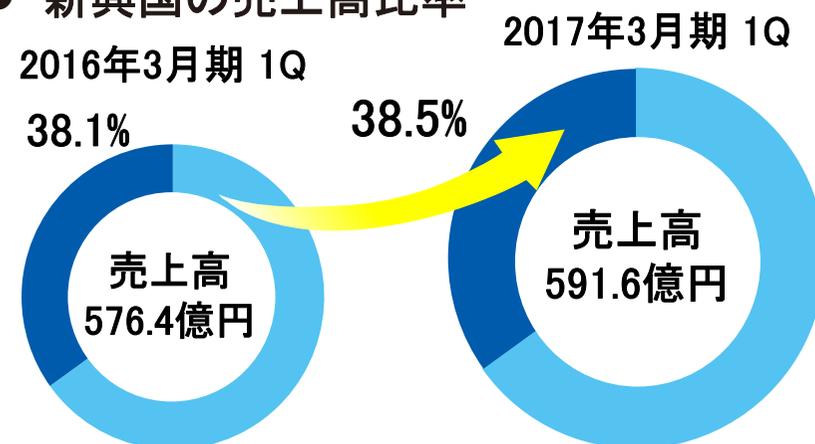
(億円)

所在地別売上高 (外部売上)							
	2017年3月期 1Q		前年同期		前年同期比	現地通貨	
	実績	構成比	実績	構成比	円		
売上高	591.6	100%	576.4	100%	102.6%	-	
所在地別	米州	124.7	21.1%	126.0	21.9%	99.0%	111.1%
	EMEA	174.3	29.5%	175.3	30.4%	99.5%	109.4%
	中国	144.5	24.4%	147.3	25.6%	98.1%	116.1%
	AP	48.4	8.2%	39.9	6.9%	121.2%	-
	日本※	99.4	16.8%	87.6	15.2%	113.5%	-

※IDEXX社等含む外部売上

為替レート		
	2017年3月期 1Q	前年同期
1USD	108.1円	121.4円
1EUR	122.0円	134.2円
1CNY	16.5円	19.6円

## ● 新興国の売上高比率



# 事業別売上高



	2017年3月期 1Q		前年同期		(億円)
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比
ヘマトロジー	373.5	63.1%	368.2	63.9%	101.4%
尿	38.0	6.4%	44.4	7.7%	85.8%
HU-BU	411.6	69.6%	412.6	71.6%	99.8%
免疫	18.0	3.1%	9.0	1.6%	198.5%
生化学	8.6	1.5%	8.2	1.4%	105.5%
凝固	103.5	17.5%	99.3	17.2%	104.2%
ICH-BU	130.2	22.0%	116.7	20.2%	111.6%
LS-BU	11.1	1.9%	11.1	1.9%	99.9%
その他※	38.5	6.5%	35.8	6.2%	107.6%
<b>売上高 計</b>	<b>591.6</b>	<b>100.0%</b>	<b>576.4</b>	<b>100.0%</b>	<b>102.6%</b>

※ 臨床検査システム(従来「HU-BUその他」に区分)、仕入商品(従来「その他IVD」に区分)、研究用・産業用FCM製品等

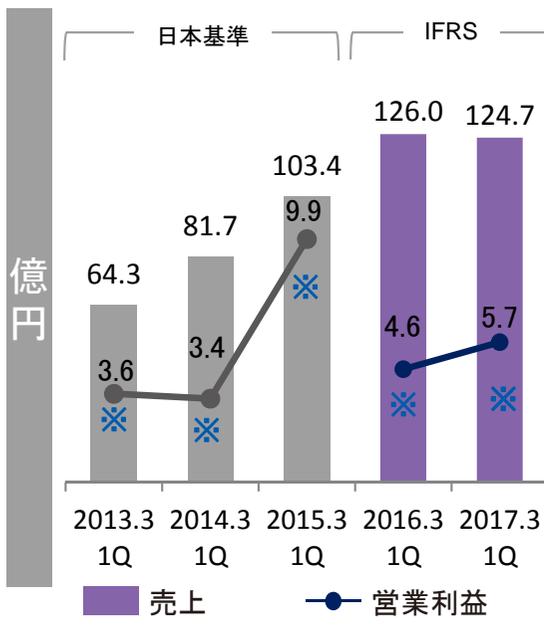
前年同期実績数字は、2017年3月期1Qから事業区分を一部変更したことにより組み替えております。  
(従来「HU-BUのその他」を「その他」に区分)

HU-BU: HU-ビジネスユニット(ヘマトロジー分野、尿検査分野)

ICH-BU: ICH-ビジネスユニット(免疫、生化学、凝固検査分野)

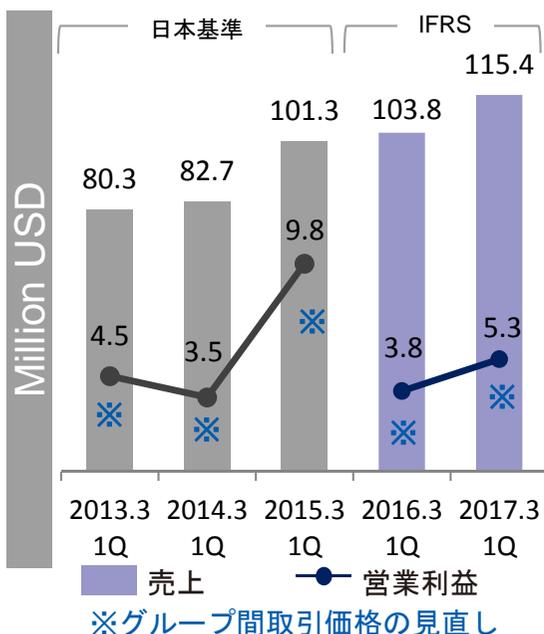
LS-BU: LS-ビジネスユニット(ライフサイエンス分野)

# 米州における取り組み（所在地別）



(億円)	2017年3月期	前年同期	前年同期比	
	1Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	124.7	126.0	99.0%	111.1%
営業利益※	5.7	4.6	123.7%	138.8%

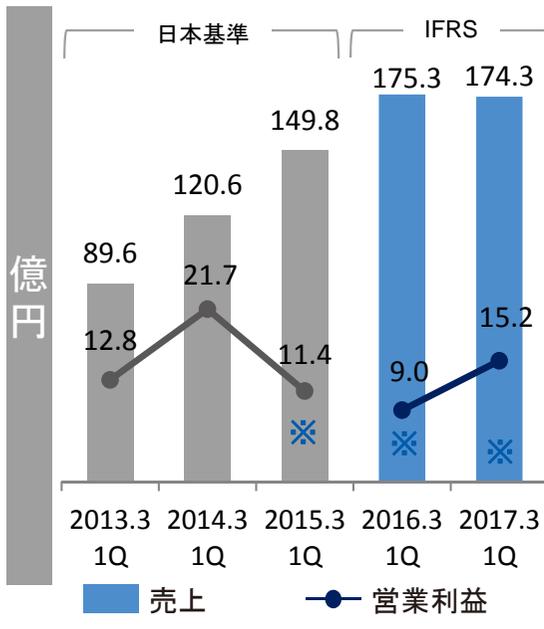
- 現地通貨ベースでは、ヘマトロジー分野を中心に増収も、円高の影響により円ベースでは微減
- 機器の売上構成比が増加し原価率が悪化するも、グループ間取引価格の見直し等により増益



## 現地通貨ベース

- 米国 凝固分野の新製品が好調に推移するも、ヘマトロジーの一部受注案件の2Q計上等により微増
- 中南米 メキシコにおいてヘマトロジー分野の新規政府大型案件獲得等により増収

# EMEA※における取り組み（所在地別）

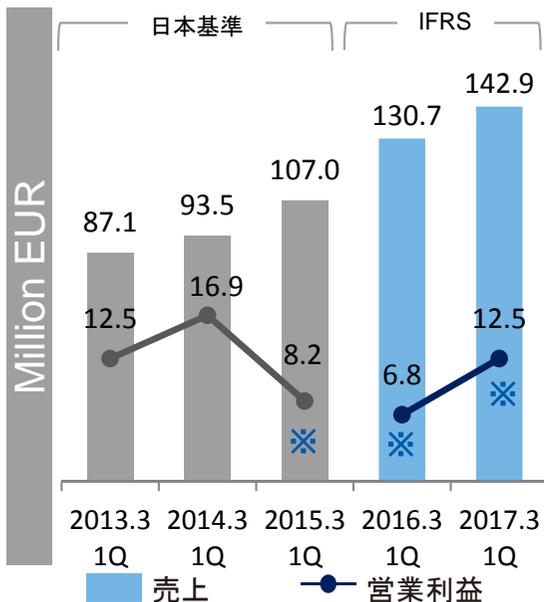


※欧州、中東、アフリカ地域

(億円)	2017年3月期	前年同期	前年同期比	
	1Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	174.3	175.3	99.5%	109.4%
営業利益※	15.2	9.0	167.7%	184.4%

- 現地通貨ベースでは、先進国（イタリア、スペインを除く）は堅調に推移し、新興国はヘマトロジー分野が好調な中東などで増収となるも、円高の影響により全体としては横ばい
- グループ間取引価格の見直しおよび販管費の抑制もあり増益

※ Partec、Inosticsを除外した前年同期比：売上 102.1%、営業利益 157.2%



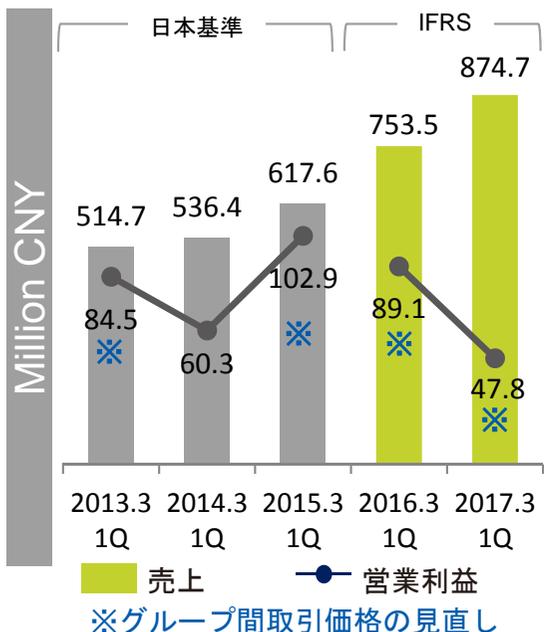
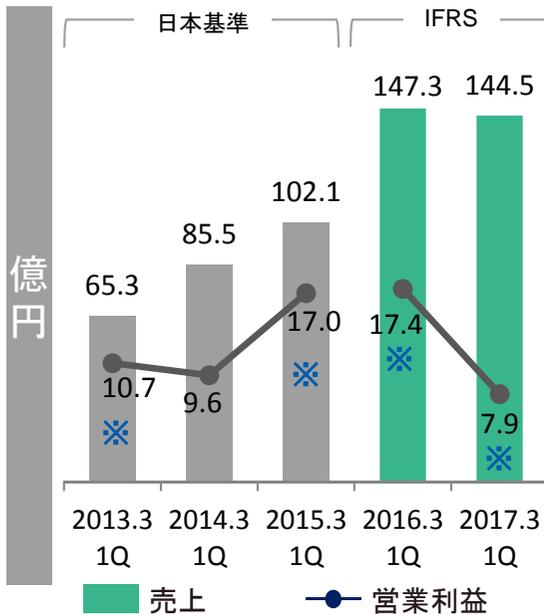
## 現地通貨ベース

- 主要5カ国 前期大型案件があったイタリア、スペインで減収するも、フランスの検査室統廃合によりシステム製品が好調
- 東欧・ロシア ロシアは二桁成長も、ルーブル安によりユーロでは減収
- 中東・アフリカ サウジアラビアにおいてヘマトロジー入札案件を獲得し増収

※グループ間取引価格の見直し

Copyright by Sysmex Corporation

# 中国における取り組み（所在地別）



※グループ間取引価格の見直し

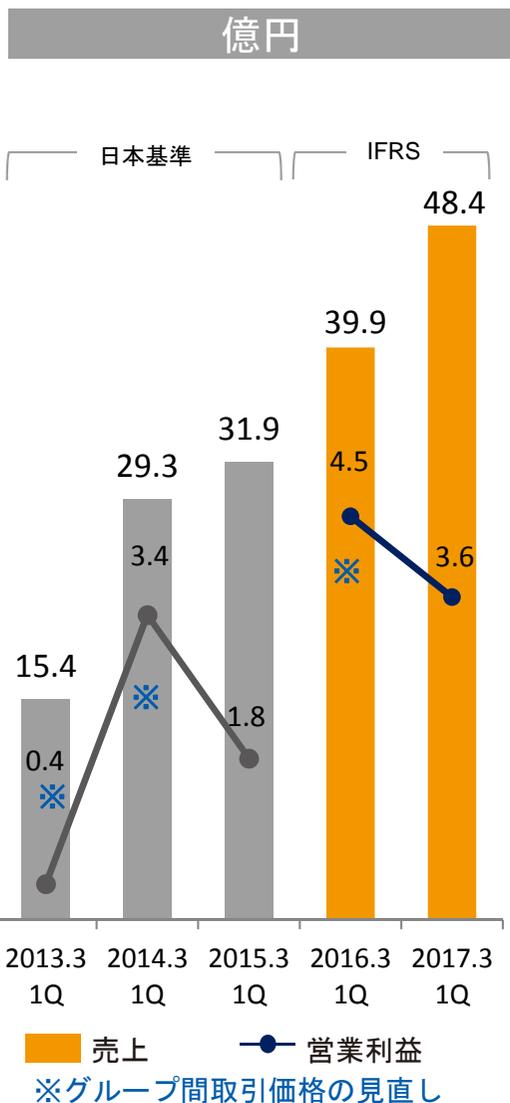
(億円)	2017年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	144.5	147.3	98.1%	116.1%
営業利益※	7.9	17.4	45.3%	53.7%

- 現地通貨ベースでは、ヘマトロジー・凝固・免疫分野において増収するも、円高の影響により円ベースでは減収
- 対ドル人民元安の影響で、日本からの仕入価格(ドル建て)が上昇したことにより原価率が悪化し、大幅減益

## 現地通貨ベース

- ヘマトロジー分野 XNシリーズの売上が好調に推移し増収
- 凝固分野 中下位市場向けCSシリーズの販売好調により増収
- 尿分野 新製品への移行期でもあり、UFシリーズの売上減少
- 免疫分野 HISCLシリーズの機器設置台数の増加により、試薬売上が伸長し増収

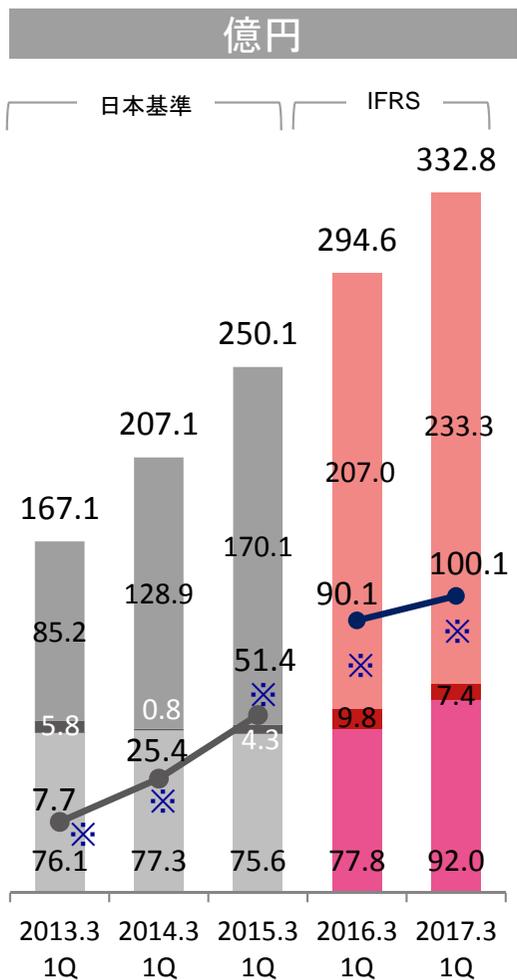
# APにおける取り組み（所在地別）



(億円)	2017年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	48.4	39.9	121.1%
営業利益※	3.6	4.5	80.9%

- AP域内通貨における円高の影響があるも、新規大型案件を獲得したオーストラリアを中心に売上が伸長し増収
- 機器の売上構成比増加および円高（対AP域内通貨）の影響により原価率が悪化し減益
  - オセアニア オーストラリアでのヘマトロジー分野の大型案件獲得により大幅増収
  - 東南アジア インドネシアおよびベトナムで政府案件を獲得し、ヘマトロジー機器の伸長により増収
  - 韓国・台湾 韓国売上が円高の影響により減収（現地通貨では増収）

# 日本における取り組み(所在地別)



- 内部売上高: 関係会社への輸出等
- 外部売上高: IDEXX社等
- 外部売上高: 日本
- 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

(億円)	2017年3月期 1Q	前年同期	前年同期比
売上高	332.8	294.6	112.9%
外部	99.4	87.6	113.5%
日本	92.0	77.8	118.2%
IDEXX社等	7.4	9.8	75.5%
内部	233.3	207.0	112.7%
営業利益※	100.1	90.1	111.0%

- 日本国内売上の増収に加え、グループ関係会社（海外）向け輸出により増収増益

- 日本 堅調なヘマトロジーに加え、ユニーク項目の採用が貢献した免疫、凝固の線溶系項目試薬が増収
- IDEXX社等 IDEXX社向け動物用機器の売上が減収





## 参考情報

---

# (参考)2016年3月期通期実績



(億円)

	日本基準	IFRS (確定値)	日本基準とIFRS(確定値)の 主な差異要因
売上高	2,531.5	2,526.2	セールアンドリースバック取引: △5.4億円
売上原価	1,020.6	1,019.3	セールアンドリースバック取引: △4.6億円 開発費の資産化に伴う償却費の増加: +4.4億円 減損に伴う償却費の減少: △2.6億円
売上総利益	1,510.9	1,506.8	
販管費	763.5	745.7	のれんの非償却: △15.3億円
研究開発費	177.7	154.0	開発費の資産化: △23.5億円
営業利益	569.6	607.2	
税引前利益	546.6	578.0	退職給付制度改定差益の処理: △5.5億円
当期利益※	362.3	392.7	

※日本基準では親会社株主に帰属する当期純利益、IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益を記載

# (参考)IFRS比較(通期)

	2016年3月期 (実績・確定)	2017年3月期* (予想)	(億円) 増減
売上高	2,526.2	2,750	+223.8
売上原価	1,019.3	1,140	+120.7
売上総利益	1,506.8	1,610	+103.2
販管費	745.7	827	+81.3
研究開発費	154.0	162	+8.0
営業利益	607.2	620	+12.8
税引前利益	578.0	615	+37.0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	392.7	405	+12.3

	2016年3月期 実績レート	2017年3月期 通期想定為替レート
1USD	120.1円	110.0円
1EUR	132.6円	125.0円
1CNY	18.9円	17.0円

\*予想は2016年5月公表より変更なし

# (参考)2016年3月期第1四半期IFRS導入の影響



(億円)

	2016年3月期1Q		主な差異要因
	日本基準	IFRS	
売上高	576.4	576.4	
売上原価	237.1	236.5	開発費の資産化に伴う償却費の増加：+0.4億円 減損に伴う償却費の減少：△0.6億円
売上総利益	339.2	339.8	
販管費	185.9	178.5	のれんの非償却：△4.3億円
研究開発費	40.4	32.5	開発費の資産化：△6.6億円
営業利益	112.9	128.8	
税引前利益	123.1	128.9	退職給付制度改定差益の処理：△5.5億円
当期利益※	75.0	79.8	

※日本基準では親会社株主に帰属する当期純利益、IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益を記載

# We Believe the Possibilities.

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

## シスメックス株式会社

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

IR・広報部

電話：078-265-0500

メールアドレス：info@sysmex.co.jp

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)